

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	産科危機的出血に対するフィブリノゲン製剤の保険適用前後における当センターの使用状況の変化
研究責任者	木原 尚宏
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	2021年9月から産科危機的出血に伴う後天性低フィブリノゲン血症に対するフィブリノゲン製剤の使用が保険適用となりました。保険適用拡大にあたり、血中フィブリノゲン値150mg/dLを下回る状態であることなど、適正な使用が求められております。 当センターでは以前より院内臨床研究倫理委員会の承認のもと、産科危機的出血に限り保険適用外のフィブリノゲン製剤を使用してきましたが、保険適用拡大前後における当センターでの使用状況について検討しました。
研究方法	当センターにおいて2020年5月から2022年5月までの期間で産科危機的出血による後天性低フィブリノゲン血症に対してフィブリノゲン製剤を使用した症例を保険適用前後に分け、患者背景・投与前フィブリノゲン値・出血量・輸血量・産科DICスコアについて診療録より後方視的に分析しました。 個人情報に保護した形で学会・論文で公表致します。 本研究への参加を希望しない方は下記の担当者までご連絡ください。なお、参加を希望されない場合でも患者様の不利益になることはありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：木原 尚宏 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604